

日田市立朝日小学校において「金融教育公開授業」を開催しました (10月27日)

10月27日(金)、日田市立朝日小学校において「金融教育公開授業」を開催しました。

日田市立朝日小学校は、令和4年度から2年間、当委員会より金融教育研究校の委嘱を受け、金融教育に関する研究・実践に取り組まれてきました。今回は、1年生と4年生のクラスで「金融教育公開授業」を実施し、県内の教職員の方々にご参加いただきました。

1年生のクラスでは、児童に身近な「うわばきぶくろ」を題材に道徳科の授業を実施し、物に込められている思いや物を大切にすることについて生徒が意見を出し合い、物の価値を知り大切にすることや感謝の気持ちをもつことを考えました。また、4年生のクラスでは、「自然災害」を題材に社会科の授業を実施しました。過去、日田市で発生した災害の写真を見ながら、災害が発生した場合には生活にどのような影響が生じるかについて、意見を発表しました。日田市の被害とその影響について考えるなかで、日常生活には様々なリスクが存在し、財産を失う可能性があることや災害への備えが必要であることを学びました。

公開授業後には、朝日小学校の教諭より、金融教育の取り組みについての実践報告がありました。最後に、金融広報中央委員会の竹内主査による、「これからの時代に求められる金融・金銭教育」と題する講演が行われ、お金の教育を行う目的と小学校での金融教育の進め方についてのお話がありました。聴講者からは、金融教育を続けていくうえで参考になった等の感想が聞かれ、充実した公開授業となりました。大分県金融広報委員会では、引き続き金融教育への支援を行っていきます

(公開授業の様子)



(講演の様子)



以上